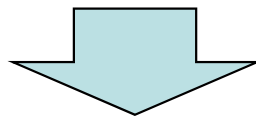
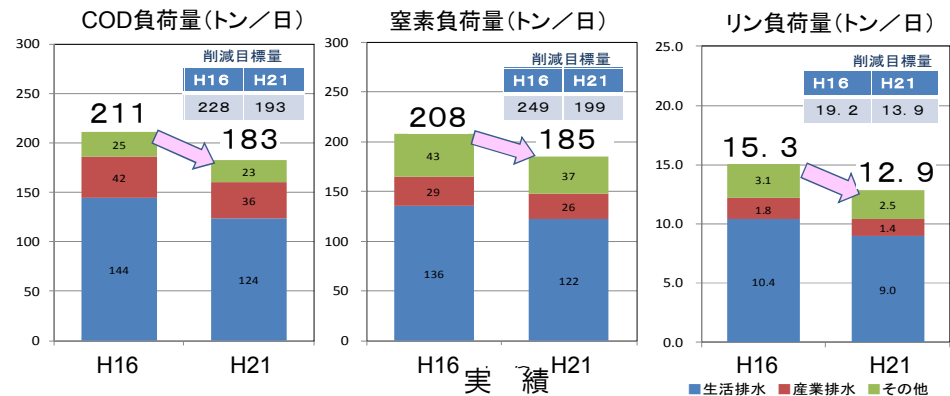


行動計画(第一期)の期末評価

(対象期間:平成15年度～平成24年度)

陸域からの化学的酸素要求量(COD)、窒素、リンの汚濁負荷量は削減され、再生された干潟や浅場で生物の生息が確認されるなど、取り組みに対する一定の成果が認められた。

東京湾の汚濁負荷は着実に減少



第一期行動計画の期末評価を踏まえ、今後10年間を見据えた行動計画(第二期)を策定

行動計画(第二期)の全体目標

(対象期間:平成25年度～平成34年度)

快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。

※第一期の目標に下線部を追加。「江戸前」とは、東京湾全体でとれる新鮮な魚介類と定義。

行動計画(第二期)のポイント

- 東京湾の環境改善に向けた活動や行動の輪を拡げるため、企業、NPO、研究者等の多様な主体で構成される「東京湾再生官民連携フォーラム」を設置する
- 長期的視点で粘り強く取組を継続するとともに、できることをできるところから一つずつ環境改善対策を積み重ねる。
- あらゆる興味を東京湾に引き付けられるよう、評価指標や手法を工夫する

東京湾再生
官民連携フォーラム

汚水処理施設の
整備・普及(高度処理)

生物共生型護岸の
整備

東京湾環境
一斉調査

